

1. 各政策分野について

政策分野等	指摘事項	対 応
全体	<p>① 表記の統一が必要。 「つながり」と「繋がり」 / 「取り組み」「取組み」「取組」</p> <p>② 基本構想の用語解説で「DX」と「デジタルトランスフォーメーション」が重複している。</p>	<p>① 全体的な表記の確認を行い、適宜修正を行いました。 (内容確認等の便宜上、基本構想と第1期基本計画を一つのファイルとしました。併せて、第1期基本計画部分の用語解説も追加し、後段に掲載しました。)</p> <p>② 文章中では主としてアルファベット表記を使用しているため、カタカナの解説を削除しました。</p>
1. 子育て	<p>① 「地域の繋がり」は、「地域との繋がり」と表現すべきではないか。</p> <p>② 青少年育成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 放課後児童会を「子育て」に含めることで、青少年育成に係る施策が見えにくくなったため、どこかに青少年育成の視点を入れる必要があるのではないか。 ✓ 青少年育成には、引きこもり、家庭内暴力、就労という視点がある。施策2「困難を抱える子どもや家庭に対する支援体制の充実」の「乳幼児・児童」という表現について、「子ども」を用いれば良いのではないか。 <p>③ 放課後児童会は、保護者が大学等で学ぶ場合は対象外となる。生涯学習の観点からも、優先順位が低くなったとしても利用できるようなれば良い。</p>	<p>① ここでは、行政と地域との繋がりを表現したものではなく、地域内の人々のつながりや支え合いをイメージしていることから、そのままとします。</p> <p>② 青少年育成（高校生世代）の施策については、「生涯学習」等の対象に含まれると考えており、困難な状況にある青少年やその保護者に対する支援については、「子育て」や「地域福祉」等の対象に含まれると考えています。 なお、「子育て」の施策2「困難を抱える子ども～支援体制の充実」については、一部表現を見直しました。 (乳幼児・児童→子ども)</p> <p>③ 所管課に確認したところ、本市では、保護者が就学している場合も入会可能です（一定の要件あり）。</p>

<p>9. 生涯学習</p>	<p>① 生涯学習施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 現在は社会人大学などもあり、教育機関でしっかり学ぶという内容もあれば良い。 ✓ 生涯学習は、スポーツ・文化・図書館だけではなく、社会教育の観点もある。生涯学習基本計画の項目を確認してもらいたい。 	<p>① 政策分野の趣旨を踏まえ、表現を見直しました。(文言修正・項目追加等)</p>
<p>19. 道路・公共交通</p>	<p>① 「人口カバー率94.5%で市街地網羅」とあるが、この数値は市の基準で算出されたものであり、人によって評価が分かれる。数字を記載しないか、説明を加えてはどうか。</p>	<p>① 政策分野の趣旨を踏まえ、表現を見直しました。(数値を削除)</p>

2. 進捗確認指標について

政策分野等	指摘事項	対 応
全体	<ul style="list-style-type: none"> ① 予算がなければ進捗しないものは指標としてふさわしくないのではないか。(住宅取得支援事業補助件数、要舗装修理延長距離等) ② 施策に対する指標が設定されていないものがある。(就業支援、子どもがのびのび遊べる公園等) ③ アンケート指標の表現について、「のびのび」「いきいき」は主観であり、指標に用いることが適切なのか。 ④ 政策分野の目標と指標のつながりが薄い分野がある。(教育環境、消防・救急等、都市環境等) 	<ul style="list-style-type: none"> ① 政策分野の趣旨を踏まえ、指標としては適正と考えます。また、市として推進する事業については、適切な予算確保に取り組みます。(意図が分かりやすくなるよう一部表現を見直しました。) ② 政策分野や施策の趣旨を踏まえ、分野を代表し、かつデータが比較的容易に取得できる指標を、担当所管との調整により設定しています。(全ての施策と指標を厳密に対応させていくことは困難と考えています。) ③ アンケート指標の表現については、政策分野における目標の趣旨を踏まえ、回答する市民(老若男女)にとって分かりやすい表現となるよう調整したものです。 ④ アンケート指標について、政策分野の目標との整合を改めて確認し、適宜見直しました。(別紙一覧「資料3」を参照)
1. 子育て	<ul style="list-style-type: none"> ① 他市では「相談件数」を指標としているところが多いがどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 相談件数は、増える・減るのどちらを目指すべきか整理が難しいため、当該分野では指標化しません。
2. 幼児教育・保育	<ul style="list-style-type: none"> ① 「全市的な教育・保育の質に関する取組み」について、方向性を現状維持「→」とするのではなく、取組みメニューを増やす意味で上げていく必要があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 指標の表現を見直すとともに、関係する施策の表現についても一部見直しました。

<p>5. 地域福祉</p>	<p>① 「ボランティア活動の参加者数」について、ボランティアセンターでの登録数ではないか。各地区で活発に活動している人もおり、その人たちがカウントされないのはどうなのか。</p>	<p>① 地域福祉に係るボランティア活動は多様であると考えますが、本指標（ボランティアセンター利用者数）は、施策の趣旨を代表するものとして設定したものです。より分かりやすくなるよう表現を見直しました。</p>
<p>6. 高齢者福祉</p>	<p>① 「健康寿命」について、定義を確認してもらいたい。</p>	<p>① 健康寿命（日常生活動作が自立している期間）とは、要介護 2 以上になるまでの期間を指しています。（大阪府が算出した数値を用いています）</p>
<p>10. 人権・多文化共生</p>	<p>① 「人権啓発」、「平和関連」とイベント参加者数が続くため、男女共同参画に係る指標を一つ入れてはどうか。（国では女性の公務員比率、就業率などの指標がある。） ② イベントの参加者数だけでなく、開催回数の設定も検討してもらいたい。</p>	<p>① イベント参加者数の指標を1つにまとめ、男女共同参画に関する指標を新たに1つ設定しました。 ② 現在実施しているイベントの参加者数の拡大を優先すべきと考えているため、開催回数は指標化しません。</p>
<p>11. 防災・減災</p>	<p>① 「防災訓練参加者数」は延べ人数を指すのか。</p>	<p>① 防災訓練を実施する各地域から報告を受けた人数を合算した数値であり、実人数となります。</p>
<p>14. コミュニティ・市民活動</p>	<p>① 「自治会加入率」の算出方法について、毎年各地区に調査しているのか。 ② 「自治会加入率」について、自治会と区を混同する可能性があり、区によっては自治会としていないところもあるため、まとめてはどうか。</p>	<p>① 自治会加入率は、各地区区長から報告があった数値から算出しています。これまで毎年の調査ではありませんでした。今後は毎年実施することを検討しています。 ② 地域コミュニティ（自治会・区）に加入している世帯の割合を意図するものです。表現を見直しました。</p>

<p>15. 都市環境・住環境</p>	<p>① 「地区計画届出件数」について、調整区域の農地をなくして住宅地開発を進める地区計画であれば、単純に増えれば良い訳ではない。</p>	<p>① 当該指標が意図する届出とは、地区計画区域内における建築等の行為の届出を指すものです。この届出の増加が、地区計画の目的である良好な市街地形成に繋がるものと考えています。 なお、指標の趣旨をより分かりやすくするため、表現を見直しました。</p>
<p>19. 道路・公共交通</p>	<p>① 「要舗装補修延長距離」について、市道を指すのか。 ② 「公共交通で快適に移動できている」と思う市民の割合について</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 「快適」は目標が高すぎるため、「支障なく」ではどうか。「公共交通機関等で支障なく移動できている」など。 ✓ 公共交通は、「電車・路線バス」がまず頭に浮かぶが、コミュニティバス、タクシー、自家用車の有料送迎もあり、受け取り方が多様であるため、明確に定義する必要がある。 ✓ 路線バスの空白地帯を埋めるため、シェアサイクルが導入される事例がある。交野市は坂道が多いため、電動アシストサイクルが有効ではないか。 	<p>① 本市舗装修繕計画の対象である「市が管理する道路」を指します。また、指標の趣旨をより分かりやすくするため、表現を見直しました。 ② 指標文言を修正し、回答者にとって分かりやすい表現とします（公共交通で快適に移動できている→電車やバスなどの公共交通を利用して移動できている）。シェアサイクルについては、担当所管に情報共有します。</p>

<p>市民アンケート指標</p>	<p>① 市民アンケートの対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 「子育て」や「学校教育」などの分野に応じて、対象を絞ってアンケートを取る方が適切ではないか。 ✓ アンケートの対象を全員とし、特定の方のみに質問したい場合は、最後に「～の方のみお答えください」と入れる方法もある。 <p>② 市民アンケートの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 子育て世代に特化したアンケートであれば LINE の活用もできるため、工夫をお願いしたい。 ✓ 設問への回答方式を5段階にするなど工夫してほしい。 	<p>① 各政策分野における、個別行政計画を立案する際、目的に応じた対象者にアンケートを実施しています。総合計画では、全体的な政策の進捗を幅広くとらえる目的から、回答者の属性を限定する予定はありません。</p> <p>② アンケートをWEBにて回答できるような工夫を検討します。回答方式についても検討します。</p>
------------------	--	--